どんぐりの森通信　第32号　2019年4月

平岡どんぐりの森は、地域の身近な自然に親しむ活動をしているグループです。
2002 年に清田区・厚別区の住民を中心に活動を始め、平岡公園や東部緑地をフィールドに自然観察会や地域の生きもの調査・保護活動などを続けています。
大人も子供も一緒に自然の中で楽しく遊びながら、身近な自然を大切に見守る目を増やしていきたいと願って活動しています。

雪解けが順調にすすんで、今年は春の訪れが早そうだと期待していましたが、思いがけず再び雪が降り寒さが戻って、春は 1 歩後退・2 歩前進を繰り返しながら少しづつ札幌に近付いています。

昨年 9 月の北海道胆振東部地震と、その前日の台風 21 号は平岡公園にも大きな被害をもたらしました。多数の倒木と道路や崖の土砂崩れが発生し、安全確認と復旧工事のため 2 か月近く閉園になり、『平岡どんぐりの森』の活動もしばらく休止を余儀なくされました。春になり、一部の区域を除いて開放されていますが、自然災害の爪痕は園内のあちこちに残されています。

アオサギの営巣地・平岡イオンの森でも、カラマツ林に倒木が目立ち、春になって南から帰ってきたアオサギ達が、昨年と様子が変わった営巣地に戸惑っているように見えます。（アオサギの現状については、北海道アオサギ研究会の松長さんの報告が 4 ページに掲載されています。）

まもなく春の『ながぐつの土曜日』から新年度の活動がスタートします。慣れ親しんだ身近な自然の中にも、新たな発見がきっとあるはず。今年も地域の自然を楽しみ、自然の移り変わりを一緒に見ていきましょう！

活動報告　2018 年度　平岡どんぐりの森

◎ながぐつの土曜日　毎月第 3 土曜日 10:00 平岡公園第 1 駐車場集合　参加費 100 円

平岡公園管理事務所と共催の「ながぐつの土曜日」は、小学生の親子を中心にした自然観察会で、毎月第 3 土曜日に平岡公園を歩いています。北海道自然観察協議会指導員『ゆうさん』を先頭に、公園内を隅々まで探検して、草花や樹木、虫やカエル、鳥、水辺の生きものなど、何でも見てみよう、触ってみよう、調べてみようと楽しく歩いています。春や初夏は明るい森や原っぱの探検、暑い夏には園内の小川に入って魚や虫を探します。冬はスノーシューをはいて雪の森も探検できますよ。

2019 年 2 月 16 日（土）　雪の森たんけんたい

明るく晴れた冬の日、静かな森に入りました。初めて履くスノーシューにもすぐ慣れて、ふわふわ雪の中を走り回る子もいます。針葉樹の木立の下には小さな足跡がいっぱい付いていました。この形、大きさはどうやら*エゾリス*！冬眠しないで雪の上を歩き回って食べ物を探しているんだね。トドマツの上*シラカバ*の樹皮にくっついているセミの抜け殻をいくつも見つけました。そういえば、去年の夏はセミの声がたくさん聞こえたね。

*シラカバ*の木には、*クマゲラ*が開けた大きな穴もありました。新しい穴もあるから、もしかしたら出会えるかも！*オオカメノキ*の冬芽は、やっぱりウサギの耳に見えるね…真ん中の丸い花芽は、そろそろ膨らんできたようです。

2019 年 1 月 12 日（土）冬休み平岡公園にぎわいフェスタ

管理事務所の前には大きな雪山が造られて、開始を待ちきれない子ども達がそり滑りを始めています。新しいタイヤ滑りはスピードが出て、スリル満点だね！スノーキャンドルづくりを終えたら、大人も子供もスノーシューをはいて雪の森たんけんに出発です。一周して戻ってくると、温かいお汁粉が待っていました！夕暮れにキャンドルに点灯して、冬のフェスタはお開きになりました。

◆　2018 年　春～夏　◆

4 月 21 日（土）　とびだせ！春のたんけんたい

すっかり雪が融けた木道を歩いて、目覚めたばかりの春を探します。湿地では*ミズバショウ*や*ザゼンソウ*が顔を出し、*エゾノリュウキンカ*も黄色い蕾を開きかけていました。水流を増した流れには*マガモ*が泳ぎ、*エゾオオハナマルバチ*も飛び始めています。越冬した*クジャクチョウ*も見つけたよ！色々な生きものが動き始めた春ですね。*エゾアカガエル*の卵はあるかな？今年の産卵は 3 月中旬頃から始まっています。バケツに入れた卵の塊を触ってみよう。卵が弱らないように、冷たい水で手を冷やしてからね。プルプルしたゼリーのような手触りと重さを確かめてから、そっと水中に戻しました。元気なオタマジャクシになってね！

6 月 16 日（土）　トンボのたんけんたい＆カエルツアー

カエル大好き！虫大好き！の子供たちがおおぜい集まって、にぎやかにスタートです。大きな茶色の*エゾマイマイ*、ホタル幼虫の餌になる*オカモノアラガイ*、*テントウムシ*や*シャクガ*の幼虫、*カミキリムシ*、*モイワサナエ*と*ニホンカワトンボ*。大勢の目で探すと、たくさんの生きものが見つかります。

広場では酪農学園大学の学生さん達が準備してくれた色々な種類のカエルを観察、カエルの生態や外来種の問題もわかりやすく説明してもらって、子ども達は熱心に聴いていました。

7 月 21 日（土）川の生きものたんけんたい

今日は楽しみしていた川遊びの日です。虫の先生・問田さんも参加してくれたので、夏のチョウや虫もじっくり観察、シャクガの仲間*ヒロオビトンボエダシャク*、タテハチョウの仲間*ヤマキマダラヒカゲ*など、難しい名前も教えてもらいました。

セミの大合唱が響く森を抜けて、三里川に注ぐ小川へと向かいます。たも網ですくってみると、最初は砂や小石ばかりですが、慣れてくると小さなエビや魚が網の中に入ります。大きな*フクドジョウ*を捕まえた親子は大歓声！*オニヤンマ*や*モイワサナエ*のヤゴもたくさん見つかりました。*スナヤツメ*の目（ホントは呼吸用のえら穴）はいくつあるかな？昨日仕掛けておいたドウに入っていた*モクズガニ*や*モツゴ*、*スジエビ*などもじっくり観察してから、それぞれもと居た場所に放してあげました。

8 月 11 日（土）　夏休み平岡公園にぎわいフェスタ

夏の平岡公園を 1 日楽しむ『にぎわいフェスタ』、酪農学園大学の学生さんたちが、森のビンゴゲームや実験コーナー開設で大活躍です。

クイズに答えながら森を歩き、広場で実験や体験コーナーを楽しんだ後、川に入って魚とりです。サケ科学館の方が、捕れた魚や水生昆虫の解説をしてくれました。